※令和４年度以降入学生用

学校番号	２０６

令和５年度　国語科

教科	国語	科目	現代の国語	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	『現代の国語』（大修館書店）						
副教材等	『重要頻出漢字リアルマスター３３００』（尚文出版）、『三訂版 学習のポイントが見える よむナビ 現代文２ 必修編』（いいずな書店）						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

下記の到達目標を達成するために、国語についての知識を獲得し、「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の能力や国語に主体的に関わる態度を育成しましょう。「話すこと・聞くこと」「書くこと」「読むこと」の能力の育成については、具体的には資料を適切に用いたプレゼンテーションや、結論を出すためのディスカッション、レポートの作成、文章の要約等ができるようになることを目指します。

評価はペーパーテストや、パフォーマンス評価（プレゼンテーション、レポート作成など）で行います。

それぞれの単元の目標を意識して日々の学習に取り組んでください。

２　学習の到達目標

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で的確に理解し効果的に表現する資質・能力を次のとおり育成することをめざす。

（１）生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深めることができるようにする。

（２）論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。

（３）言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって読書に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚をもち、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。

３　評価の観点及びその趣旨

観点	a　知識・技能	b　思考・判断・表現	c　主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生涯にわたる社会生活に必要な国語について，その 特質を理解し適切に使っている。	「話すこと・聞くこと」,「書くこと」,「読むこと」の各領域において，生涯にわたる社会生活における他者との関わりの中で伝え合う力を高め，自分の思いや考えを広げたり深めたりしている。 　各領域について、以下の言語活動を行うことができる能力の育成を目指す。 「話すこと・聞くこと」 ・適切に資料等を活用しながらプレゼンテーションができる。 ・結論を出すために他者と討論を行うことができる。 「書くこと」 ・伝えるべき情報を吟味し、その情報をわかりやすく伝える適切な構成のレポートを作成することができる。 「読むこと」 ・論理的な文章や実用的な文章を読んで、適切に要約ができる	言葉を通じて積極的に他者と関わったり，思いや考えを深めたりしながら，言葉のもつ価値への認識を深めようとしているとともに，言語感覚を磨き，言葉を効果的に使おうとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和４年度以降入学生用

学期	単元の学習内容	単元の評価規準	評価方法		
			知(a)	思(b)	主(c)
1	文章の論理構造を読み取る1 ［教材］ 教科書「水の東西」「「動」への変化」	a： ・接続語の使い方や比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使っている。 b[読]： ・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて本文中の表現（ランドマーク）をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c： ・ランドマークを用いて具体と抽象や対比の関係をとらえることに意欲をもち、文章の要点をとらえようとしている。	・テスト	・テスト ・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明）	・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明） ・ワークシート ・振り返りシート
	伝わるように話す ［教材］ 教科書「伝わるように話す」	a： ・話し言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話/聞]： ・話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c： ・話し言葉の特徴に関心をもち、聞き手が理解しやすい説明のしかたをしようとしている。		・パフォーマンス（資料の説明）	・パフォーマンス（資料の説明） ・ワークシート ・振り返りシート
	わかりやすく書く ［教材］ 教科書「わかりやすく書く」	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[書]： ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c： ・相手に正確に伝わるように、わかりやすく書こうとしている。″		テスト ・パフォーマンス（説明資料を書く）	・パフォーマンス（説明資料を書く） ・ワークシート ・振り返りシート
	意見を書く ［教材］ 教科書「意見を書く」	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[書]： ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとと	テスト	・パフォーマンス（小論文）	・パフォーマンス（小論文） ・ワークシ

※令和４年度以降入学生用

		もに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c： ・相手に正確に伝わるように、わかりやすく書こうとしている。〞			ート ・振り返りシート

2	文章の論理構造を読み取る2 ［教材］ 教科書「動的平衡としての生物多様性」「自然と人間の関係をとおして考える」	a： ・接続後の使い方や比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使っている。 b[読]： ・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて本文中の表現（ランドマーク）をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c： ・ランドマークを用いて具体と抽象や対比の関係をとらえることに意欲をもち、文章の要点をとらえようとしている。	・テスト	・テスト ・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明）	・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明） ・ワークシート ・振り返りシート
	工夫して話す ［教材］ 教科書「工夫して話す」	a： ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b[話]： ・話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c： ・聞き手を意識し、構成や展開、表現のしかたを工夫して話そうとしている。〞		・パフォーマンス（ショートスピーチ）	・パフォーマンス（ショートスピーチ） ・ワークシート ・振り返りシート
	魅力的な紹介文を書く ［教材］ 教科書「魅力的な紹介文を書く」	a： ・比喩、例示、言い換えなどの修辞や、直接的な述べ方や婉曲的な述べ方について理解し使っている。 b[書]： ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c： ・紹介文を書く活動に興味をもち、読み手が共感できるように表現を工夫して書こうとしている。〞		・パフォーマンス（紹介文を書く）	・パフォーマンス（紹介文を書く） ・ワークシート ・振り返りシート
	資料と文章の関係を読む ［教材］ 教科書「「安くておいしい国」の限界」「インターネット時代の音楽産業」〞	a： ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 b[読]： ・目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	・テスト	・テスト ・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明）	・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明）

※令和４年度以降入学生用

		c： ・資料と文章の関係を読み取ることに興味をもち、的確意情報を読み取ろうとしている。			・ワークシート ・振り返りシート
	統計資料をもとに意見を書く ［教材］ 教科書「統計資料ともとに意見を書く」	a： ・情報の妥当性や信頼性の吟味のしかたについて理解を深め使っている。 b[書]： ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 c： ・統計資料を正確に読み取ることに意欲的に取り組み、読み取った情報を活用して自分の主張を書こうとしている。″		・パフォーマンス（統計資料と読み取り小論文）	・パフォーマンス（統計資料と読み取り小論文） ・ワークシート ・振り返りシート
	目的に沿った質問をする ［教材］ 教科書「目的に沿った質問をする」	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[話]： ・論理の展開を予想しながら聞き、話の内容や構成、論理の展開、表現のしかたを評価するとともに、聞き取った情報を整理して自分の考えを広げたり深めたりしている。 c： ・目的に沿った質問をする学習に意欲的に取り組もうとしている。″	ワークシート	・パフォーマンス（ミニインタビュー）	・パフォーマンス（ミニインタビュー） ・ワークシート ・振り返りシート
	状況に応じた通信文を書く ［教材］ 教科書「状況に応じた通信文を書く」	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[書]： ・自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c： ・通信文の基本的なルールを知ることに興味をもち、相手や場面に応じた通信文を書こうとしている。″	・ワークシート	・パフォーマンス（手紙を書く）	・パフォーマンス（手紙を書く） ・ワークシート ・振り返りシート
	″文章を比較して読む ［教材］ 教科書「「美しさの発見」について」「空気を読む」「「個人」から「分人」へ」	a： ・接続語の使い方や比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使っている。 b[読]： ・「読むこと」において、目的に応じて、文章や図表などに含まれている情報を相互に関係付けながら、内容や書き手の意図を解釈したり、文章の構成や論理の展開などについて評価したりするとともに、自分の考えを深めている。	・テスト	・テスト	・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明） ・ワークシート

		c： ・複数の文章を比較して読むことに意欲をもち、共通点や相違点をとらえようとしている。〃			・振り返りシート

3	説得力のある資料をつくる ［教材］ 教科書「説得力のある資料をつくる」	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 b[書]： ・「書くこと」において、自分の考えや事柄が的確に伝わるよう、根拠の示し方や説明のしかたを考えるとともに、文章の種類や、文体、語句などの表現のしかたを工夫している。 c： ・企画書を書く活動に興味をもち、効果的な表現や資料の提示のしかたを工夫して書こうとしている。〃	・ワークシート	・パフォーマンス（企画書を作る）	・ワークシート ・パフォーマンス（企画書を作る） ・振り返りシート
	資料を用いて発表する ［教材］ 教科書「資を用いて発表する」	a： ・話し言葉と書き言葉の特徴や役割、表現の特色をふまえ、正確さ、わかりやすさ、適切さ、敬意と親しさなどに配慮した表現や言葉遣いについて理解し、使っている。 ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 b[話/聞]： ・目的や場に応じて、実社会の中から適切な話題を決め、様々な観点から情報を収集、整理して、伝え合う内容を検討している。 ・話し言葉の特徴をふまえて話したり、場の状況に応じて資料や機器を効果的に用いたりするなど、相手の理解が得られるように表現を工夫している。 c： ・プレゼンテーションをすることに意欲をもち、聞き手の心を動かす話し方を工夫しながら発表しようとしている。〃	・ワークシート	・パフォーマンス（資料を用いたプレゼンテーション）	・ワークシート ・パフォーマンス（資料を用いたプレゼンテーション） ・振り返りシート
	文章の論理構造を読み取る3 ［教材］ 教科書「贅沢を取り戻す」「言葉についての新しい認識」	a： ・接続語の使い方や比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使っている。 b[読]： ・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて本文中の表現（ランドマーク）をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c： ・ランドマークを用いて具体と抽象や対比の関係をとらえることに意欲をもち、文章の要点をとらえようとしている。	・テスト	・テスト ・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明）	・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明） ・ワークシート ・振り返りシート

※令和４年度以降入学生用

	討論をする ［教材］	a： 自分の主張を明確に伝え、相手の意見を聞く方法を理解している。 b[話]： ・「話すこと・聞くこと」において、論点を共有し、考えを広げたり深めたりしながら、話合いの目的、種類、状況に応じて、表現や進行など話合いのしかたや結論の出し方を工夫している。 c： ・討論に意欲的に参加し、自分の役割や論理の流れを意識しながら発言している。〃	・ワークシート	・パフォーマンス（討論）	・ワークシート ・パフォーマンス（討論） ・振り返りシート
	文章の論理構造を読み取る4 ［教材］ 教科書「白」「作業ロボットの悲劇」	a： ・接続語の使い方や比喩、例示、言い換えなどの修辞について理解し使っている。 b[読む]： ・文章の種類をふまえて、内容や構成、論理の展開などについて本文中の表現（ランドマーク）をもとに的確にとらえ、要旨や要点を把握している。 c： ・ランドマークを用いて具体と抽象や対比の関係をとらえることに意欲をもち、文章の要点をとらえようとしている。	・テスト	・テスト ・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明）	・パフォーマンス（要約作成、その理由の説明） ・ワークシート ・振り返りシート
	レポートを書く ［教材］ 教科書「レポートを書く」	a： ・文、話、文章の効果的な組立て方や接続のしかたについて理解している。 ・推論のしかたを理解し使っている。 b[書くこと]： ・「書くこと」において、目的や意図に応じて、実社会の中から適切な題材を決め、集めた情報の妥当性や信頼性を吟味して、伝えたいことを明確にしている。 ・「書くこと」において、読み手の理解が得られるよう、論理の展開、情報の分量や重要度などを考えて、文章の構成や展開を工夫している。 ・「書くこと」ににおいて、目的や意図に応じて書かれているかなどを確かめて、文章全体を整えたり、読み手からの助言などをふまえて、自分の文章の特長や課題をとらえ直したりしている。 c： ・積極的に情報を集め、レポートを書く活動に意欲的に取り組んでいる。〃	・ワークシート	・パフォーマンス（レポート）	・ワークシート ・パフォーマンス（レポート） ・振り返りシート

４　学習の活動

※表中の観点について　a：知識・技能　b：思考・判断・表現　c：主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[　話／聞、書、読　]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと　…　（　２０　）時間

・書くこと　…　（　３０　）時間

・読むこと　…　（　２０　）時間